

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月03日

計画の名称	白井市下水道における浸水対策・改築更新の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	479	A	479	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道による都市浸水対策達成率を29.80%(521.9ha) (H28)から29.85%(522.9ha) (H32)に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	521ha	522ha	523ha
	浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠(雨水)	新設	神崎23号雨水枝線整備(浸水対策)	600新設に伴う本復旧 A=400m ²	白井市						3		-	
	A07-002	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠(雨水)	新設	神崎20号雨水幹線・30号雨水枝線整備(浸水対策)	1300 ~ 2500 x L=448m	白井市						476		-	
												小計						479		
											合計							479		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施

事後評価の実施時期

令和5年1月

公表の方法

市ホームページ上にて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設の整備により、都市浸水対策達成率が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

既成市街地の雨水整備を進める計画としており、富士地区（神崎30号雨水枝線整備）の都市浸水対策を進める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	523ha
	最終実績値	523ha
		目標値が面積単位となっているが、成果目標である達成率で表すと最終目標値29.85%に対し最終実績値29.85%となり、成果目標を達成した。